

## 折に触れ 四字熟語

### NO. 345 『独鈷鎌首』 とっこ かまくび

< 意味 > 何かについて激しい論争になり、けんかすること。

< 出典 > 『井蛙抄』六

故 事 : あるとき大がかりな歌合せがあった。そのときに顕昭と寂蓮は毎日参加しては激しく論争していがみあった。顕昭は独鈷を手に、寂蓮は坊主頭を突き上げてやりあつたので、侍女たちは「例の独鈷鎌首がまたやっているわ」と言い合つた故事から。

表 言 : 寄るとさわると独鈷鎌首を繰り返す二人

語 釈 : 「独鈷」は僧が祈祷のときに左手に持つ仏具。「鎌首」は鎌の形をしたような首。蛇が直立したような首の形を指す。

一 言 : 「辞典オンライン 四字熟語辞典」というサイトの10月30日付け週間ランクで1位になっていました。このような四字熟語があることを知りませんでした。なかなか奥が深いですね。例によってこの順位の根拠、背景については分かりません。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」

7・11・11 弁本 純